

はじめに

アルザス欧州日本学研究所（CEEJA）と国際交流基金は、佐藤健二・東京大学教授とジョルダン・サンド・ジョージタウン大学教授を講師に迎え、2014年9月にCEEJAを会場として日本研究セミナー「東京」を開催いたしました。本書はセミナー参加者9名のうち、4名の発表論文を編集したものです。

特定の専門分野や同一国内における研究者同士のネットワークは学会などを通じて存在し、機能しているかと存じますが、研究分野の異なる専門家間の本格的な研究交流はまだ十分とはいえない状況と思われまます。

そこで、この日本研究セミナーでは、「学問分野」ではなく広域テーマのもと、ヨーロッパにおける若手・中堅日本研究者のネットワーク形成を図り、各自の研究に広がりや深まり、そして日本研究の内容の充実に資することを目的に実施しております。

2007年、2008年は「江戸」（講師：田中優子・法政大学学長）、2009年、2010年は「明治」（講師：御厨貴・放送大学教授・東京大学名誉教授）、2011年、2012年には「大正／戦前」、2013年には「戦後」（講師：井上寿一・学習院大学学長）をテーマとし、セミナーを実施してまいりました。すべてのセミナーにおいて、参加者は相互の日本語による発表を聞き、質問と議論を交わすことで、その時代の日本の特質や、現代日本に息づく影響などについて問題提起を図りました。

本企画実施にあたり、お忙しい中アルザスでの企画に参加いただき、セミナーの講師をお引き受け下さいました佐藤健二先生、ジョルダン・サンド先生に篤く御礼申し上げます。

本論文集が、広く日本研究を志す研究者の参考となれば幸いです。

国際交流基金